

■インフレとお金■

ほぼ週刊【松村拓也のメルマガジン】第 345 号

こんにちは、松村拓也です。

E-Mail と Facebook で松村拓也の活動についてほぼ毎週お届けしています。

ご意見、ご質問大歓迎です。

オンラインの議論をご希望の方は、気軽に返信ください。

.....

345 目次

1. トピックス：同窓会ラッシュ
 2. ブログより：インフレとお金
 3. 今週のお誘い+今後の予定
 4. アクセスポイント：問い合わせ先
 5. このメルマガについて
- バックナンバーはこちら

<http://nanoni.co.jp/magazine/>

.....

1. トピックス：同窓会ラッシュ

先週は、ちょっとした同窓会ラッシュでした。

まず 11/2 火に、いきなり LINE のトークグループに招待されたので覗いてみると、「下北沢で昔の仲間で飲んだので、またみんなで集まりましょう」というお誘いでした。

彼らは、僕が IID 世田谷ものづくり学校で 2006 年に始めた「池尻ロマンス座」という多世代映画交流会の運営メンバーでしたが、2015 年 100 回目を区切りに解散しました。

(アーカイブ <https://nanoni.co.jp/old/romance/index.html>)

そして先週 26 日に IID に集合し、6 年ぶりにしげこんだ焼き鳥屋では、ヤマコは連れてきた娘の「じーじ」になって、すっかりご機嫌になっちゃった。

.

11/20 土には、昨年が続いて麻布高校同期新年会の中止メールが届いたので、僕は腹が立って「オンライン新年会を勝手に開催する」と宣言し、メールや FB で賛同者を募り始めました。

すると、ポツポツと賛同者が集まり始めたので、早速 11/23 火と 11/28 日の 2 回にわたり、オンライン作戦会議を開催しました。

2 回目の会議には、バン格拉デッシュのダッカで仕事帰りの E 君が車中から参加したり、オランダ大使の H 君からは時差を考慮して、なるべく遅い時間に開催して欲しいとメールが届きます。

こうして開催日時と概要を決め、すでに web サイトを完成させた僕をご機嫌です。

本番に何人集まろうと、たとえ失敗しよう、すでに仲間たちと準備が始まっています。

どんなに久しぶりであろうとも、劣化しない友情こそ、まさに宝物だと僕は思います。

.

そして、今度の日曜日は、菊名で新たな PJT の顔合わせに参加するのですが、あたりはかつて僕がボーイスカ

ウト活動にのめり込んだ地域です。

僕がビーバー隊の隊長だった頃、副長を務めた I さんに連絡し、当時のリーダーや保護者を集めてお茶でもしないかと提案しました。

成功や失敗に一喜一憂するのではなく、永続性にこだわる僕にとって、仲間との交流こそ終わらない関係でありたいと思います。

同窓会が、「同じ窓を開いてきた仲間とのつながり確かめる機会」ならば、ますますたくさん仕掛けていきたいと思います。

.....

2. ブログより：インフレとお金

近頃、様々な値上げと、円安がセットで報じられている。

経済学者、アナリストから評論家やお笑い芸人に至るまで、様々なコメントが飛び交う中で、どうやら話題の核心は「インフレ」のようだ。

「インフレ」とは物価が上がることだから、その前に食料や消耗品を買いだめする人がいる。

「インフレ」とはお金の価値が下がることだから、その前に急いで高価なマンションを買う人がいる。

「インフレ」とは金利が上がることだから、その前に借金をする人がいる。

だが、僕らは今の状況を理解できているのだろうか。

お金と社会の関係、つまり「経済」のことを、分かっているのだろうか。

・

そもそも「経済」は、歴史の浅い新しい仕組みだ。

明治維新までの日本は、およそすべての地域が自給自足で暮らしていたため、経済という概念は必要すらなかった。

だが、明治維新で年貢を廃止し、貨幣経済を導入すると同時に、福沢諭吉は *economy* (エコノミー) に「経済」という言葉をあてがった。

でも当初のお金には信用力が無く、銀行が保有する「金の延べ棒」の相当額しか発行できなかった(金本位制)。ところが世界の商取引が活発になるにつれ、流通する(使用できる)お金の絶対量が足りなくなり、1971年8月15日のいわゆるニクソン・ショック以降は、金と米ドルの兌換が停止され、世界経済は変動相場制による管理通貨制度に移行した。

つまり、お金そのものを信用するようになったのは、わずか50年前のことだった。

・

さて、インフレの話から、いきなりお金の歴史に話が飛んだのは、今日の主題がインフレでなく、お金そのものの話だからだ。

150年前に導入された金本位制による貨幣経済は、たった100年で機能しなくなった。

いや、実を言うと1914年にはじまった第一次世界大戦により、各国政府とも金本位制を中断し、管理通貨制度に移行したことがある。

つまり、当初の金本位制は、50年もせぬうちにほころびを見せ始め、100年後にはついに捨てられたという訳だ。

僕はこの経緯から「社会の仕組みは、50年続けるのが精いっぱい」ということを、絶対に見逃したくない。

260年も続いた徳川時代が、いかに巧みな社会だったかを、しっかりと認識すべきだろう。

・

20 万年かけてサルから人間に進化してきた僕らにとって、このように、時間軸を長い尺度で見渡すことは大切なことだ。

「バブル崩壊以降 30 年続いたデフレの時代」を長いと感じたり、「変動相場制に移行してからバブル崩壊までの 20 年」を短いと感じることに意味はない。

変動相場制によってお金をいくらでも印刷できるようになったので地価はどんどん上がり、その 20 年後には上がりすぎた地価が暴落し、その後も増え続けるお金が使われずに 30 年間デフレ状態が続いている・・・というように、全てはつながった歴史として見るべきだと思う。

南海トラフ地震に備えるのは、その発生が予測されるからでなく、「これまでの歴史から見てそろそろ起きないはずはない」ということだ。

だとしたら、日本経済の未来を予測するのではなく、「次はこうならざるを得ない」という必然に備えるべきではないだろうか。

・

すでに「お金＝円」は、発行しすぎて有り余っているはずなのに、使わずに貯め込まれている状態だ。

銀行に預けるより、株や不動産に投資した方がまだだから、株価も地価も上がり続けている。

株価や地価は、誰も売らなければ上がり続けるに決まっているし、誰かが売れば下がり始め、みんなが売れば暴落する。

これは円相場も同じこと、だから円高と株高を自慢していたアベノミクスは、僕の眼には張りぼてにしか見えなかった。

そしていよいよ始まる「インフレ」は、お金＝円の価値が下がること。

決して日本の価値が下がるのではなく、印刷しすぎた「円」という日本政府発行の「サービス券」の値打ちが無くなるだけのこと。

・

「サービス券」の価値が 1/10 になると、それまで 100 円だったリンゴが 1000 円に値上がりする。

だがこれは、リンゴの価値が 10 倍になったのではなく、サービス券の価値がなくなっただけのこと。

100 円のみかんを持っていれば、従前どおり交換できる。

なので、売るものを持っている人は、なにも困ることはない。

何も売ることができず、サービス券しか持っていない人にとって、「インフレ」は死活問題だ。

サービス券をたくさん持っている人を「お金持ち」という。

これはまだ、50 年前から始まったばかりで、それ以前のお金持ちは、お金以外の価値を実際に所有していた。

だから、「お金持ち」という言葉は、最近できた言葉なのだ。

そもそも 50 年前までは、金や銀が無ければお金を印刷できなかった。

・

お金は、いつまでも腐らない、軽くて便利な引換券。

だけど、僕らは自分の頭と体と心を使って産み出す「価値＝売るもの」しか信用しない方が良い。

でもそれは誰にでもできること。

だから世界は面白い！

<https://nanoni.co.jp/20211128/>

.....

3. 今週のお誘い+今後の予定

【凡例】◎：申込優先、○：申込必要、×：参加不可、下記以外の時間はすべて応相談

■今週の予定

(火) 11/30 いづみ (反町) 作業日

交流◎：10-17時 いづみ PJT オープンデイ、説明会 (反町)

会議×：11-12時 出版会議 (反町)

(水) 12/01 なのに (自宅) 作業日

会議×：11-12時 RY会議 (反町)

(木) 12/02 なのに (自宅) 作業日

(金) 12/03 なのに (自宅) 作業日

(土) 12/04 笑恵館 (世田谷) 作業日

面談◎：09-17時 よろず相談会 (笑恵館)

(日) 12/05 なのに (自宅) 作業日

会議×：10-12時 100smilePJT (菊名)

交流○：13-15時 BS 横浜 79 団 MTG (綱島)

(月) 12/06 なのに (自宅) 作業日

■定例の予定

毎 日 22-23 時 ○オンライン談話室 (zoom)

毎週火曜日 10-17 時 ◎いづみ PJT オープンデイ、説明会 (反町)

毎週火曜日 21-23 時 ○京島 MTG (zoom)

毎週土曜日 09-17 時 ◎よろず相談会 (笑恵館)

第1土曜日 10-11 時 ×100smile 会議 (zoom)

第2木曜日 16-17 時 ○日本土地資源協会経営会議 (笑恵館)

第2木曜日 17-19 時 ◎笑恵館クラブ運営会議 (笑恵館)

第2金曜日 19-20 時 ◎カプラー起業交流会 (zoom)

第3木曜日 13-18 時 ○笑恵館なるほどデイ (笑恵館)

第3木曜日 18-20 時 ○笑恵館完全持ち寄り食事会 (笑恵館)

第3木曜日 20-21 時 ○一宮庵クラブ運営会議 (成城)

第4木曜日 17-19 時 ◎笑恵館クラブ運営会議 (笑恵館)

毎月 1 日 20-22 時 ○名栗の森オーナーシップクラブ月例会 (zoom)

■今後の予定

会議×：12/07 HFA 定例会 (渋谷)

会議×：12/09 UST 見学会 (駒場)

調査○：12/12 筑西プロジェクト (筑西市)

旅行×：12/19～12/21 奄美大島 (個人旅行)

交流○：12/26 名栗の森オーナーシップクラブ忘年会 (飯能?)

交流○：01/09 AZ51 オンライン新年会 (反町)

交流○：01/23 みんなの家シンポジウム (仙台・熊本・zoom)

松村の予定はこちらで随時公開しています。

<http://nanoni.co.jp/schedule>

.....

4. アクセスポイント：問い合わせ先

松村拓也

メール takuya@nanoni.co.jp

携 帯 090-9830-3669

自 宅 株式会社 なのに(取締役平社員)

〒226-0016 神奈川県横浜市緑区霧が丘 3-15-1

<http://nanoni.co.jp/>

職 場 一般社団法人 日本土地資源協会(代表理事)

<http://land-resource.org/>

笑恵館 〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-27-19

<http://shokeikan.com/>

フェイスブックグループはこちら

<https://www.facebook.com/groups/atamanonaka/>

まぐまぐ版はこちら

<https://www.mag2.com/m/0001693746>